

令和4年度職員採用選考試験
看護 専門記述試験 (4.10.16)

= 課題 =

○ 脳出血患者の看護について

事例を読み、次の質問について、それぞれ記述しなさい。

事例 Aさん 54歳 男性

- ・ 診断名：脳出血（左被殻出血）
- ・ 背景：1年前の健康診断で高血圧を指摘されていたが受診はしていなかった。前日の仕事に軽度頭痛があったが仕事が忙しく頭痛薬を飲んで様子を見ていた。翌日起床時に頭痛が増強し、嘔吐と右半身に力がはいらなくなる症状が現れたため緊急搬送された。
搬送先の病院では、JCS II-20、左顔面麻痺と右上下肢麻痺が認められた。病院でCTを撮影したところ、左被殻出血と診断され、緊急の開頭血腫除去術を受けた。
- ・ 現在の状況：手術は無事に終了し、現在術後7日目で、右上下肢の不全麻痺が残存している。リハビリテーションが開始され3日目経過した。

(1) Aさんに生じた「起床時の頭痛や嘔吐」についてそのメカニズムを説明しなさい。

(2) Aさんに行われたJCS（ジャパン・コーマ・スケール）の検査について、何がわかる検査で、どのように行うのか、Aさんの結果も含めて説明しなさい。

(3) 次の場面は、学生BがAさんに病棟でもできるリハビリを計画し、部屋を訪室した場面である。

学生B：「Aさん、退院に向けて病棟でも関節を動かす訓練や歩行訓練を行いたいと思うのですがやってみませんか。」

患者A：「リハビリしても効果あるのかな…。右手の麻痺も変わらないし…」

学生B：「いろいろご心配ですよね。でも今はしっかりリハビリすることが大切です。」

患者A：「どれくらいで仕事に戻れるかな。また今までのように仕事ができるだろうか…」

帰宅後、学生は少し暗い表情で「Aさんはリハビリに意欲がもてないようなので、病棟でのリハビリは中止します。」と報告に来ました。

①このようなAさんにどのような看護が必要か、あなたの考えを答えなさい。

②また、あなたが実習指導者だったら、教育的な関わりとして、学生Bにどのような声をかけるか、具体的な発言とその意図を述べなさい。